

B-34 スカート裏地のスリット明きに関する研究(第2報)

スリット留めの強さについて

比治山女短大○枝広瑤子, 広島大教育 山田都一

目 的 本報では, 第1報の「裏地のスリット明きについての調査」より, 裏地のスリット留めの部分が, 何らかの損傷を生じていたものが, 40%近く見られたことより, 「スリット留め」の種類と, 用いたミシン縫糸の種類による強さを比較検討した。

方 法 ①試料——裏地: キュアラ100%, ミシン糸: 絹糸#50, ナイロン糸#60, ポリエステル糸#90の3種 ②縫製条件——ミシン: シンガー188U型, ミシン針: DB×1#9, 針目ピッチ数: 7.5目/2cm, 上糸張力: 約50g, 下糸張力: 約11g, 押え圧: 約1.5kg, ミシン回転数: 約1100rpm ③縫代幅——出来上り1.2cm(三つ折り) ④「明き止まり」の始末: 1.5cmの返し縫い ⑤「スリット留め」の種類——留めなし, 1度縫い, 虫留め, 当て布, 3度縫いの5種類 ⑥スリット部の破壊試験の種類——引張試験(クラフ法), 引裂試験, 破裂試験の3種類

結 果 ①縫糸の単純引張強さ, 縫糸同志のループ引張強さ, 縫糸と織糸(1目中のよこ糸本数)とのループ引張強さは, 絹糸>ナイロン糸>ポリエステル糸の順であった。②縫糸の切断伸び率は, ナイロン糸>ポリエステル糸>絹糸の順であった。③「スリット留め」の種類別による強さは, いずれの縫糸の場合でも, いずれの破壊試験の場合でも, 留めないものが1番小さく(布地の損傷は小), 当て布・3度縫いのものが大きい値(布地の損傷は大)を示した。④縫糸の種類別による強さは, いずれの「スリット留め」の種類の場合でも, いずれの破壊試験の場合でも, ポリエステル糸で縫ったものが小さく(布地の損傷小), 絹糸・ナイロン糸で縫ったものの方が大きい値(布地の損傷大)を示した。